

子どもの 困った行動はなぜ？

～アタッチメント理論から考える～



日時 10月17日(木)
10:40 ▶ 12:10

場所 関西大学 堺キャンパス
SB302教室

講師

東京大学大学院教育学研究科 教授
東京大学大学院教育学研究科付属
発達保育実践政策学センター長

遠藤 利彦 氏

司会

関西大学 人間健康学部 教授

福田 公教 氏

講演内容

支援者として子どもと関わっていると、子どもの困った行動に「何でこんなに困らせるんだろう」「どう対応したらいいんだろう」「どう関係を築いていけばいいんだろう」と感じることも多いと思います。子どもの困った行動には、不適切養育によって、健全なアタッチメントが形成されていない背景があるかもしれません。不健全なアタッチメントは、心身にどのような影響があるのか、支援者として何ができるのか、アタッチメントは大人になっても再形成できるのか、たくさん疑問がわいてきます。

本講演会では、アタッチメント研究の第一人者である東京大学大学院教育学研究科 教授 遠藤先生をお迎えして、「子どもの困った行動はなぜ？～アタッチメント理論から考える～」というテーマでお話いただきます。遠藤先生から、子どもの発達とアタッチメントについて学び、普段関わっている子どもの理解につなげましょう！

お申込はこちらから

▼QRコードよりお申込みください▼

申込締切

10/10 木



募集定員

100名

● お問い合わせ先 ● (お電話・FAXでのお申し込みは受け付けておりません)

関西大学 堺キャンパス事務室 地域連携担当「子どもの困った行動はなぜ？」係
〒590-8515 堺市堺区香ヶ丘町1-11-1 FAX:072-229-5082 TEL:072-229-5024